

# 好生館だより

2006.12

第 5 号



## 佐賀県立病院好生館

### 設立の理念

「好生の徳は民心にあまねし」  
「学問なくして名医になるは  
覚束なきことなり」

### 基本理念

「病む人、家族、そして県民の  
ところに添った  
最良の医療をめざします」



館長  
河野 仁志

## 館長挨拶

常日頃より県立病院好生館をご利用いただきありがとうございます。本年度は医療界にとって大変厳しい時代の幕開けとなったように感じております。ただ、県立病院好生館はこれまでの「病む人、家族、そして県民のところに添った最良の医療をめざします」の基本理念を追求し続けます。このことを踏まえ、今後のビジョンを「県民に最も信頼される急性期病院」といたしました。地域医療支援病院や地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たし、地域の先生方と一体となった医療を目指してまいります。

また昨年度に購入したMDCTが本年度は本格的に稼動しており、循環器系の疾患を中心とした高度な診断に威力を発揮しています。これからも職員一同で全力・誠実・謙虚な努力を重ねてまいります。県立病院好生館を今後もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 目次

- 館長挨拶 ..... 1ページ
- 好生館ニュース：DPC包括医療について ..... 2ページ
- 診療科紹介：整形外科 ..... 2ページ
- 診療科紹介：小児科 ..... 3ページ
- 豆知識：知って得するお菓の話 ..... 3ページ
- 看護科だより(職場紹介)：5階東病棟、5階西病棟 ..... 4ページ
- 健康講座：口内炎について ..... 5ページ
- 栄養管理だより：「栄養補助食品」について ..... 5ページ
- 病病・病診連携：地域医療連携室からのお知らせ ..... 6ページ
- ボランティア紹介 ..... 6ページ
- 新任医師の紹介 ..... 7ページ
- 外来医師一覧表 ..... 8ページ

## 佐賀県立病院好生館

〒840-8571 佐賀市水ヶ江一丁目12番9号

T E L 0952-24-2171(代表)

F A X 0952-29-9390

<http://www.koseikan.jp/index.html>

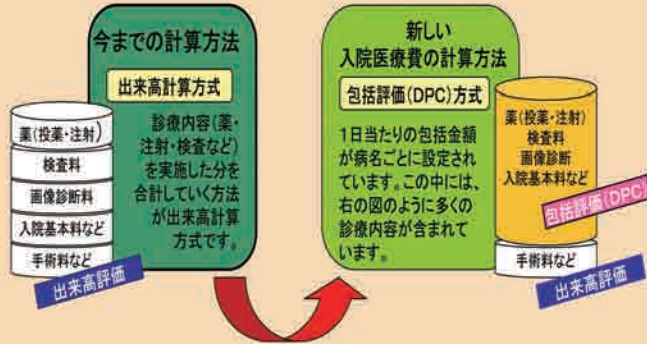
## 【好生館ニュース】

### DPC包括医療について

平成18年7月1日以降に入院なさる患者さまの  
入院医療費の計算方法が変わりました。

入院医療費は「**包括評価(DPC)**」方式により計算されます。

好生館は「包括評価(DPC)」という新しい医療費制度の実施病院になります。  
このため入院費の計算方法は次のとおりです。



## Q & A

**Q1** 新しい計算方式(DPC：包括評価)では、医療費はどう変わりますか？

A 新しい計算方式では、患者さまの病名や診療内容によって入院1日当たりの医療費が決められています。また、入院期間によっても1日当たりの医療費が決められています。  
この1日当たりの医療費の中には、入院基本料と従来は個別に算定していた検査料、投薬料、画像診断料が含まれます。ただし、手術や一部の処置・検査等については従来どおり出来高により医療費を計算します。

**Q2** 入院される患者さま全員がこの新しい計算方式(DPC：包括評価)の対象になるのですか？

A 患者さまの症状や処置等の内容によって分類された診断群分類に当てはまる場合は新しい計算方式の対象となりますが、これに当てはまらない場合は従来どおりの出来高による計算方法が適用されます。

**Q3** 新しい計算方式(DPC：包括評価)の対象になったら、医療費は高くなるのですか？

A 医療費については過去の平均値に基づいて算定されていますのでこれまでと大きな差はなく、患者さまの症状や処置内容等によって多少の増減があるかもしれません。

**Q4** 医療費の支払いはどうなるのですか？

A 医療費の支払方法については、基本的に従来の方と変更ありません。



## 【診療科紹介】

### 整形外科

整形外科部長 野口 康男

#### ●整形外科は運動器を担当する診療科です

体の部分はその働きにより、肺などは呼吸器、胃腸などは消化器といった臓器別の名前がつけられており、『運動器』という用語もその一つです。運動器は骨、関節、筋肉などからなります。またこれらを動かす脳からの指令を伝えるせき髄や手足の神経も運動器の一部です。運動器に障害を生じると手足が不自由となりますから、障害がひどくなれば日常生活が自立できなくなります。つまり運動器は人の尊厳に関わる重要な臓器なのです。現在『運動器の10年世界運動(2000-2010)』が行われており、運動器の病気の予防、医療、研究の推進が世界を挙げて行われています。

#### ●好生館で行っている治療について

好生館で最も多いのは外傷(骨折、脱臼、神経や腱の損傷など)の治療で、毎年500

件近い手術を行っています。骨折の治療も年々進歩し、入院期間や治療期間も短くなってきています。そのほか、関節の病気では内視鏡のひとつである関節鏡を使っての膝の手術も多数行っています。また人工関節による治療も実施しています。

さらに背骨の病気(椎間板ヘルニアやせき柱管狭窄症など)についてもMRIやせき髄腔造影などで正確に診断し、年間数十例の重症ケースの手術も行っています。

#### ●地域医療連携について

佐賀県の基幹病院の整形外科として、高度な医療を必要とする急患の受け入れを最優先しており、常に空きベッドを確保しておく必要があります。したがって病気やケガの治療が一段落して状態が安定したら、連携している地域の医療機関へ転院して頂くことが多くなってまいります。地域の医療機関とはスムーズに治療が継続できるように連携クリニカルパス(治療方針をあらかじめ話しあって決めたもの)の使用も始めております。県民の皆様のご理解をお願いいたします。



## 【診療科紹介】

小児科

小児科部長 市丸 智浩

皆さんは好生館の中庭にブロンズ像が建っているのにお気づきでしょうか。子どもが腕を出しており、そのすぐ横に何か手に携えた大人がいます。また、それを見守って立っている大人もいます。これは何をしているのかご存知でしょうか。

これは予防接種をしているところです。頭の「まげ」でおわかりのように、江戸時代、鍋島藩主直正公の世嗣子（よつぎこ）に種痘の予防接種をしているところです。そしてこれは日本で最も早く行われた予防接種で、傍らの大人は佐賀出身の医者です。これらからわかることは、佐賀（藩）は当時最も進んだ「医学先進地」であったこと、そして予防接種は現在でも小児科のもっとも重要な医療ですが、それはここ好生館にルーツがあるということです。

さて、その伝統を受け継いで、好生館小児

科には常時4名の小児科専門の医師（6月現在）と、2ないし3名の初期臨床研修医が勤務しています。一般の外来は月曜日から金曜日までの午前中診療をしています。午後は月曜と水曜はアレルギー（気管支喘息や食物アレルギー、アトピー性皮膚炎など、予約制）の専門外来、火曜日は予防接種、水曜日と木曜日は健診を行っています。さらに第一、第三水曜日は小児循環器の専門外来（予約制）、第二、第四火曜日は小児神経の専門外来（予約制）を開設しています。

また小児科病棟は小児外科（佐賀県内では唯一の、小児専門の外科です）と一緒に5階東にあります。入院は肺炎や気管支炎などの感染症が多いのですが、好生館に救急外来があることもあり、それ以外に気管支喘息の発作であったり、けいれんであったりと、さまざまな病気のお子さまの診断・治療にあたっています。

昨今、小児を取り巻く多くの問題があらわになってきています。小児科や産科の問題もその一つでしょう。しかしながら、われわれ好生館小児科は、伝統を踏まえつつ、より良い医療を提供すべく努力していきたくと考えています。



## 【豆知識】

知って得するお薬の話

薬剤長 今村 平

### ◎3日間服用したら7日間効く抗生物質

1日1回3日間続けて服用すると、あとには服用しなくても7日間も効き目があるお薬があります。（このお薬が使用できるかは、医師の判断で決まります。）

例えば、お薬を決められた時間に何回も服用するのが苦手な患者様には適しています。

4日目以降も症状の改善が見られない場合、不快な症状が見られた場合はかかりつけ医に相談してください。

注意することは、他の医療機関で診療を受ける方は、7日以内であればこの薬を飲んだことを伝えてください。

### ◎頓服薬とはなんですか

頓服薬とは、症状のひどい時に、1回の服用で不快な症状を改善するために用いるお薬です。

たとえば、痛みが強いときの鎮痛剤、熱が高いときの解熱剤などです。

これらを医師から処方された時は、必ず使い方の説明を聞いてください、繰り返し

使用する場合は何時間あければよいか、1日何回まで使用できるかの確認をしてください。

### ◎解熱用坐薬とは

子供の急な発熱で、医師の診察を受けて解熱用坐薬が処方されますが、一般的な使い方は38.5度以上の発熱時の指示が多いと思います。

坐薬を入れてから20～30分で効き目が現れてきます、熱が下がらないからといってすぐに次ぎを入れしないでください。

再度発熱の場合、次に坐薬を入れるのは6時間程度の間をあけてください。

### ◎後発医薬品とは

先発医薬品は臨床試験（いわゆる治験）等によりその有効性や安全性が確認され、承認された医薬品である。この先発品の特許期間が切れた後に、厚生労働省の承認を得て先発品と有効成分や投与経路、用法、用量、効能・効果、規格等が同一であるとして、臨床試験等を省略して販売される医薬品のことである。

最近、後発医薬品（ジェネリック医薬品）という言葉がテレビ、新聞等で目にするのが多くなってます、また厚生労働省は薬剤費の抑制のため、後発医薬品の使用促進に取り組んでいます。

## 【看護科だより】

### (職場紹介) 5階東病棟

病棟師長 宮崎真里子

私達の病棟は小児科全科と成人の混合病棟です。ベッド数は小児35床・成人その他計54床となっています。スタッフは小児科医師4名・小児外科医師2名・看護師23名・看護助手1名・クラーク1名です。

入院の患者様の特徴としては小児全科（小児科・小児外科・耳鼻科・整形外科・脳外科・眼科・皮膚科）等の患者様が入院されます。季節によって入院の変動がありますが、いつでも急患を受け入れています。中でも小児外科は、佐賀県で唯一当館のみです。予定入院の鼠径・臍ヘルニア・包茎患者様・緊急でのリスクの高い新生児の手術（食道閉鎖・横隔膜下ヘルニア・鎖肛・十二指腸閉鎖）等、その他、整肢学園より胃瘻造設の患者様が多く入院されます。

小児の入院期間は、4～7日で早いスピードで退院されます。その短い期間でお子様・ご家族と信頼関係が築ける様、心配り、思いやり、笑顔を忘れず日々努力しています。人工呼吸器管理の長期療養しているお子様もいらっしゃいます。

看護師は患者様の安全を第一に考え、ご家族を含めた質の高いケア提供ができるよう、小児科・小児外科医師・看護師とカンファレ

ンスを行い、情報交換・勉強会をしています。

小児看護に必要な遊びに関しては、週1回ボランティアの方に紙芝居、折り紙などをお願いしています。又、看護学生の実習期間に、レクレーションをしております。年間を通じてスタッフで、7月の七夕に、お子様と一緒に飾り付けをしたり、12月にクリスマスツリーの飾り付けをして、医師がサンタやトナカイになり、お子様のご家族と、写真を撮って手作りのクリスマスカードに貼りプレゼントしております。

昨年のクリスマスの際は、ボランティアでマジックショーを開催しました。子供たちのキラキラした目や、お母様、ご家族の笑顔など、とても楽しんで頂きスタッフも喜んでいました。今後も、お子様・ご家族に、入院生活が少しの時間でも癒しになればと、色々工夫して頑張っていきたいと思っております。

一番の私達の喜びは、辛い顔で入院されたお子様、ご家族が笑顔で退院されることです。

これからもスタッフ一同、子供達のために頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



## 【看護科だより】

### (職場紹介) 5階西病棟

看護師長 川崎 圭子

私たちの病棟は、産科10床、婦人科18床、泌尿器科18床の46床です。スタッフは助産師10名、看護師13名、看護助手1名、クラーク1名です。平均在院日数は、11.8日で、次々に入退院があります。短い期間に、患者様のその人らしさを大切にしたい暖かい看護を提供出来るよう努めています。

平成17年度の出産数は、151例でやや増加傾向にあります。

バースプラン・家族立ち会い分娩・フリースタイル分娩・出生直後のカンガルーケア（帝王切開時実施）・産後のアロママッサージを積極的に取り入れています。またアロマや音楽・照明の調整など、分娩時に出来るだけご希望に添うようにしています。この取り組みは助産師・看護師・産科医師はもちろん、必要であれば小児科医師・麻酔科医師・内科等他科医師や手術室看護師との連携を十分に図って、安全第一で出来るだけ自然に進めています。常日頃の連携の上に、安全な出産を提供できると信じています。

婦人科では平成17年度は354例の手術がありました。入院生活を快適に過ごしていただけるよう、説明を十分に行い、安心して手術に臨まれるよう配慮しています。また悪性腫瘍の場合は、化学療法で長期間、入退院を繰り返される患者様には受持看護師が継続して援助しています。常に「お待ちしております」の心でお迎えしています。

泌尿器科では、平成17年度は238例の手術がありました。侵襲が少ない経尿道的手術から、前立腺全摘出術あるいは骨転移の緩和まで様々な泌尿器科疾患の患者様の援助をしています。尿路変更をされた場合は、傾聴に努めそのつらい気持ちを受けとめて、常に励まし、前向きに自己管理ができるよう援助しています。

以上のような5階西病棟です。いつも明るく、仲良く連携を取って、今後も邁進いたします。よろしくお願い致します。





## 【健康講座】

### □内炎について

皮膚科部長 武下 泰三

□内炎とは、□腔内の粘膜（□唇や頬の内側、舌、歯ぐきなど）に起きた炎症性疾患の総称です。炎症とは粘膜が赤く腫れて、ただれて痛いという性質のものです。□内炎の代表的なものに、アフタ性□内炎があります。アフタとは、小さい丸いただれです。アフタ性□内炎のうちで、一番多いのは、再発性アフタあるいは習慣性アフタといわれるもので、1～数個のアフタが生じ、1個のアフタは1～2週間で治りますが、再発することが特徴です。再発性アフタの原因は不明ですが、外的刺激（入れ歯が合わない場合や歯並びが悪く粘膜に当たる場合）や過労などで体力が衰えていることなどが誘因とされています。予防

としては、**1) □の中を傷つけないように気をつけましょう。**歯ブラシは硬過ぎない、ちょうどよい大きさのものをを選び、歯みがきの時に過度のブラッシングは避けましょう。入れ歯が合わない時は早めに調節しましょう。熱いものを飲食する時は□の中をやけどしないよう注意しましょう。**2) 野菜を含めたバランスのよい食事をとりましょう。****3) 規則正しい生活を送り、睡眠はしっかりとりましょう。**

アフタ性□内炎は時に種々の全身性疾患や皮膚疾患の部分症状として発生する場合があります。アフタ性□内炎を起こす全身性疾患の中ではウイルス性疾患（疱疹性歯肉□内炎、手足□病、ヘルパンギーナなど）が多く、これらのウイルス性疾患は成人より小児に起こりやすい病気です。アフタ性□内炎の症状が激しく摂食障害がある場合や全身症状を伴っている場合などは、医師の診察を受けられることをお勧めします。

## 【栄養管理だより】

### 「栄養補助食品」について

栄養管理科 竹林 明子

「栄養補助食品」はいわゆる「健康食品」「健康補助食品」「サプリメント」などと呼ばれ、いまや薬局だけでなく、スーパーマーケット、コンビニエンスストアあるいはインターネットでも、販売されています。内容も、ビタミン、ミネラルを補給するものや、テレビなどで話題になっている栄養成分を濃縮したものなど、種類や形もさまざまです。

皆様はその中の「保健機能食品」をご存知でしょうか？

今回は「保健機能食品」についてお話しします。

「保健機能食品」とは、「特定保健用食品」と「栄養機能食品」をまとめて呼びます。

#### ①「特定保健用食品」(トクホ) について



このマークのついた製品をご存知のかたもいらっしゃると思いますが、特定保健用食品は、製品ごとに厚生労働省の許可・承認を受けています。

また、「おなかの調子を整

えるのに役立つ食品です」等、特定の保健の用途が書かれています。

現在、587種類の特定保健用食品が許可されています。(2006.6.20現在) ヨーグルト、清涼飲料水、ビスケット、ガム、ソーセージ等多くの種類があります。

#### ②「栄養機能食品」について

17種類のビタミンとミネラルについて、厚生労働省が定めた基準に従えば、許可の必要はなく、栄養機能食品として「**カルシウムは骨や歯の形成に必要な栄養素です**」といった栄養成分の機能等が表示されています。

錠剤のサプリメントや清涼飲料水、菓子等の種類があります。

これらの食品はあくまでも補助であり、まずは毎日の食事で主食、主菜、副菜をそろえてバランスよく栄養をとることが基本です。その上で、本当にその食品が自分に必要かどうかは、医師、管理栄養士等の専門家にご相談ください。また、薬ではないので病気や体の不調を治すものではないとお考えください。

最後に、治療中の方は、食品によっては、治療の妨げになることがあります。必ず医師にご相談ください。

## 【病病・病診連携】

### 「地域医療連携室」からのお知らせ

各医療機関が機能分担して、患者さまにより適切な医療を提供するため、当館では、平成17年4月に「地域医療連携室」を設置し、地域医療機関との病病・病診連携が円滑に行えるよう、それを支援する業務を行っています。

当室においてもスタッフ交替（看護師：江副和代 ⇒ 松本尚子）がございました。

診療報酬改定後、医療を取り巻く環境はますます厳しさを増してきていますが、これまで以上に地域の先生方との連携を大切にまいります。どうぞよろしくご指導、ご協力の程、お願い申し上げます。

#### スタッフ紹介



室長 河野 仁志    主査 西山 保美    主査 小杉 淑子    主任看護師 松本 尚子

## 地域医療研修会（講演会）の予定

県立病院好生館では、平成16年11月に地域医療支援病院としての認定を受け、平成17年1月から地域の医療従事者の皆様に対し、地域医療研修会（講演会）のご案内をいたしております。

今後、下記の研修会（講演会）を予定しております。皆様方の参加をお待ちしております。

なお、研修日程、内容等は変更になる場合がございますので詳細は、当館のホームページ等でご確認ください。

### ◎地域医療従事者向け研修会

日時 平成18年12月18日(月)18時～

内容 『DPCの概要』

産業医科大学 公衆衛生学教室

教授 松田 晋哉 先生

DPC（Diagnosis Procedure Combination）推進の中心的役割を担っていらっしゃる産業医科大学の松田先生にご講演をお願いいたしました。

DPCの本質をじっくりと理解するまたとない機会です。皆様の積極的なご聴講をお待ちしています。

## 【ボランティア紹介】

看護部長 深川由久美

### \*あなたも好生館医療(病院)ボランティアをしてみませんか。\*

医療ボランティアとは？医療関係の施設内で、自ら進んで、労力・時間・技術などを通して、より良いサービスを提供することです。






















皆様の思いやりと優しさをもって、自分のできることを、患者様やそのご家族に提供してください。特に資格は要りません。

活動内容は総合案内でのお手伝い・巡回図書・緩和病棟、小児科病棟でのお手伝い・その他です。（写真は実際活動中の情景）

\*皆様の素敵な笑顔とあたたかい心をお待ちしております\*



## 平成18年4月以降 採用医師一覧表（医員を除く）

診療科目	氏名	顔写真	専門分野	診療科目	氏名	顔写真	専門分野
内科	荻本 昌郎 出身大学 山口大学		糖尿病 日本内科学会認定医 日本糖尿病学会専門医	産婦人科	荒木 保博 出身大学 佐賀医科大学		日本産科婦人科学会専門医 日本産婦人科内視鏡学会会員 日本癒治療学会会員
	西坂 慎也 出身大学 久留米大学		神経 日本内科学会認定医 日本神経学会専門医	小児科	垣内 俊彦 出身大学 自治医科大学		小児科全般 小児栄養消火器肝臓 日本医師会認定産業医
	桑原 伸夫 出身大学 佐賀医科大学		血液 日本内科学会認定医		古賀 正啓 出身大学 自治医科大学		小児科全般
	坂田 資尚 出身大学 佐賀医科大学		消化器 日本消火器内視鏡学会専門医	耳鼻咽喉科	木寺 一希 出身大学 佐賀医科大学		耳鼻咽喉科全般、頭頸部外科 耳鼻咽喉科学会認定専門医
	布巻 直美 出身大学 佐賀医科大学		腎臓内科	泌尿器科	藤田 亮 出身大学 川崎医科大学		泌尿器科一般
外科	犬塚 貞明 出身大学 長崎大学		日本外科学会認定医・専門医 検診マンモグラフィ読影認定医 消化器一般外科 抗がん化学療法 乳腺外科	整形外科	川口 謙一 出身大学 琉球大学		外傷一般 日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会脊髄・脊椎 病医認定医
	山本 一治 出身大学 九州大学		日本外科学会認定医・専門医 日本消化器外科学会専門医 消化器外科 (肝臓、胆道、膵臓など)	放射線科	牧角 健司 出身大学 九州大学		日本医学放射線学会放射線科 専門医 総合画像診断 I・V・R
	田口 匠平 出身大学 九州大学		日本外科学会認定医 日本小児科学会専門医 小児外科 (小児の外科的疾患全般) 新生児外科	麻酔科	四宮宗一郎 出身大学 自治医科大学		麻酔一般
	古賀 聡 出身大学 佐賀医科大学		日本外科学会認定医・専門医 消化器外科一般		笹栗 智子 出身大学 佐賀医科大学		麻酔一般 麻酔科標榜医
	馬場 博充 出身大学 佐賀医科大学		日本外科学会認定医 呼吸器外科 (肺・縦隔など) 一般外科 (消化器・乳腺など)		丸野 暢彦 出身大学 佐賀医科大学		麻酔一般
眼科	樋田 太郎 出身大学 佐賀医科大学		眼科一般（白内障、緑内障、 糖尿病網膜症、網膜剥離ほか） 眼科手術全般（白内障手術、 網膜硝子体手術、外眼部手術、 緑内障手術ほか） ポツリヌス療法 日本眼科学会専門医	救命救急センター	徳田 保教 出身大学 自治医科大学		日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医

# 外来医師一覽表

(平成18年11月1日現在)

区分		月	火	水	木	金	
内科	午前	総合内科	榎藤 久司	榎藤 久司		榎藤 久司	
		呼吸器(肺)	嬉野 紀夫	富永 正樹	永田 正喜	富永 正樹	永田 正喜
		肝臓・胆道・膵臓	重松 宏尚		川添 聖治	川添 聖治	重松 宏尚
		消化器(胃・腸)	河口 康典		河口 康典		
		血液	坂田 資尚	緒方 伸一	河口 康典	緒方 伸一	坂田 資尚
		腎臓・透析	松石 英城	桑原 伸夫	松石 英城	桑原 伸夫	(榎藤 久司)
		神経内科	富吉 義幸	布巻 直美		富吉 義幸	布巻 直美
糖尿病・内分泌	荻本 昌郎	高島 洋	西坂 伸也	荻本 昌郎	高島 洋		
外科	午前	白石 猛	矢野篤次郎	新患当番医	山田 耕治	山本 一治	
		新患当番医	折田 博之		犬塚 貞明	犬塚 貞明	
		田口 匠平	馬場 博充		新患当番医	古賀 聡	
			新患当番医			新患当番医	
眼科	午前	美川 優子	西村 知久	中尾 功	西村 知久	西村 知久	
			樋田 太郎		樋田 太郎	樋田 太郎	
産婦人科	午前	(婦人)	西田 純一	手術	西田 純一	手術	
		(産)	田中 智光		田中 智光		
小児科	午前	市丸 智浩	垣内 俊彦	市丸 智浩	市丸 智浩	古賀 正啓	
		古賀 正啓	船越亜希子	垣内 俊彦	古賀 正啓	垣内 俊彦	
	午後	(アレルギー外来)	(予防接種)	(乳児検診・アレルギー外来)	(予約外来・1ヶ月健診)		
	午後(時間外)	船越亜希子	垣内 俊彦	古賀 正啓	船越亜希子	船越亜希子	
耳鼻咽喉科	午前	手術	宮崎 純二	手術	宮崎 純二	宮崎 純二	
			恒富 今日子		恒富 今日子	恒富 今日子	
			木寺 一希		木寺 一希	木寺 一希	
皮膚科	午前	武下 泰三	武下 泰三	武下 泰三	武下 泰三	武下 泰三	
		榎藤 寿喜	榎藤 寿喜	榎藤 寿喜	榎藤 寿喜	榎藤 寿喜	
泌尿器科	午前	徳田 倫章	徳田 倫章	手術	徳田 倫章	手術	
		狩野 武洋			狩野 武洋		
		藤田 亮			藤田 亮		
整形外科	午前	佛坂 俊輔	手術	佛坂 俊輔	手術	前 隆男	
		川口 謙一		前 隆男			
		力丸 俊一		力丸 俊一			
		野口 康男		野口 康男			
		前 隆男		川口 謙一			佛坂 俊輔
放射線科	午前	今井 詩乃	梶原 哲郎	井上 昭宏	梶原 哲郎	今井 詩乃	
脳神経外科	午前	坂田 修治	増岡 淳	坂田 修治	手術	前田 健二	
精神神経科	午前	原 富英	原 富英	原 富英	原 富英	原 富英	
循環器科	午前	石橋 裕二	林田 潔	石橋 裕二	心カテ(急患のみ)	林田 潔	
		江頭 泰博					江頭 泰博
心臓血管外科	午前	手術	樗木 等	手術	樗木 等	手術	
麻酔科	午前		牧野 毅彦			牧野 毅彦(予約)	
	午後		牧野 毅彦(予約)				
緩和ケア科	午前	牧野 毅彦				牧野 毅彦	

※ 救命救急センター 藤田尚宏、佐竹義泰、山下友子、井上克一、徳田保教

